

梱包明細(プッシュプル)

※取り付け前に必ず梱包内容をご覧ください。
■ シリンダーセット

名称	入数	詳細
シリンダー	2個	シルバー/ブラック
サムターン	1個	シルバー/ブラウン
脱着サムターン	1個	シルバー/ブラウン(サムターンツマミ/2個)
主錠ガードケース	1個	
補助錠ケース	1個	
鍵セット	1セット	子鍵/5本(内1本は握り部樹脂製) 工事用キー(コンストラクションキー)/3本
取付小ネジセット	1袋	M4×18皿小ネジ(ケース用)/4本 M5×65トラス小ネジ(サムターン用)/2本 ドア厚60用 (M5×70トラス小ネジ(脱着サムターン用)/2本 M5×75トラス小ネジ(サムターン用)/2本 ドア厚70用 (M5×80トラス小ネジ(脱着サムターン用)/2本

主錠・補助錠取付方法(プッシュプル)

- 主錠ガードケース(上側)を取付小ネジにて取り付けてください。
- 補助錠ケース(下側)を取付小ネジにて取り付けてください。
- 封印シール付シリンダーを上側のケースに取り付けてください。
このとき、シリンダーに「上面」とかいてある側が上側になるように取り付けて、室内側よりサムターンと共に取付小ネジにて取り付けてください。
このとき、サムターン取り付け方向は緑丸表示を上側にし、サムターンツマミは解錠時タテ向きとなるように取り付けてください。
- コンストラクション装置付シリンダーを下側のケースに取り付けてください。
このとき、シリンダーに「上面」とかいてある側が上側になるように取り付けて、室内側より脱着サムターンを下記「脱着サムターン取付方法」に従って取り付けてください。

※把手の取り付けについては「ハンドルセット取付説明書」を参照してください。

脱着サムターン取付方法(A部詳細図)

サムターンはボタンを下にして取り付けてください。

サムターンツマミの正しい状態

施錠時…ヨコ
表示部…緑色

解錠時…タテ
表示部…黄色

キミツパッキン
(脱着サムターンに取付けられています)

表示部

脱着サムターン

ボタン

M5×70トラス小ネジ(ドア厚60)
M5×80トラス小ネジ(ドア厚70)

取付小ネジを締め付け後、錠の作動を確認してください。確認後、サムターンの下側のボタンを押し、サムターンツマミを外してサムターンカバーをはめ込んでください。

サムターンカバーは表示窓を上にしてまっすぐはめ込んでください。

最後にサムターンツマミを差し込んでください。
サムターンツマミを差し込むときは必ず下側のボタンを押したまま差し込んでください。

※サムターンカバーを外す場合
サムターンツマミを外してサムターンカバーの両側(扉面に近い部分)をつまみ、カバーをたわませるようにして外してください。それでも外れない場合はサムターンカバー下側(ボタンの脇)の切欠にマイナスドライバーを入れサムターンカバーを浮かせる。そのままはぎ取るようにして取り外してください。

つまむ ← つまむ

切欠

※脱着サムターンに付いている取扱説明書(タグ)は必ず施主様にお渡しください。

プッシュプルB型 シリンダー取付調整方法(B部詳細)

プッシュプルB型には振れ止め金具が付いています。シリンダーを取り付ける前に、振れ止め金具を左に回してゆるめてください。シリンダーの出張り(4ヶ所)をケースの角穴に合せて差し込みます。振れ止め金具を扉面まで軽くねじ込んでください。(下図参照)取付小ネジを締め込みサムターンを取り付けてください。

サムターン

※扉面まで軽くねじ込む

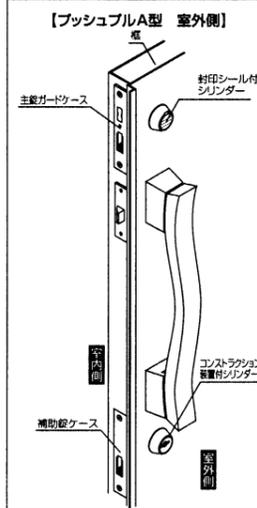
シリンダーユニット

出張り

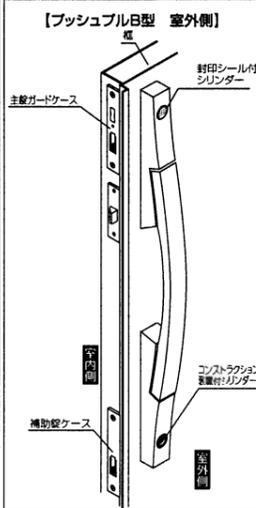
振れ止め金具

取付小ネジ

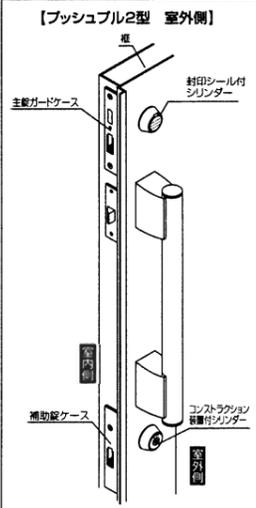
取付完成図



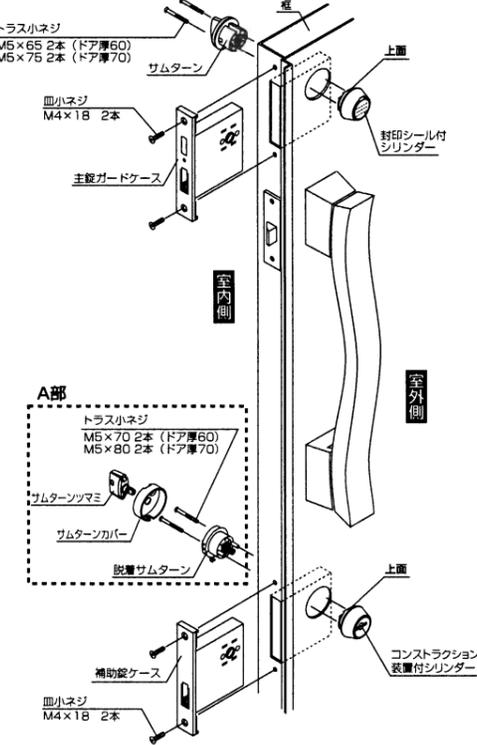
取付完成図



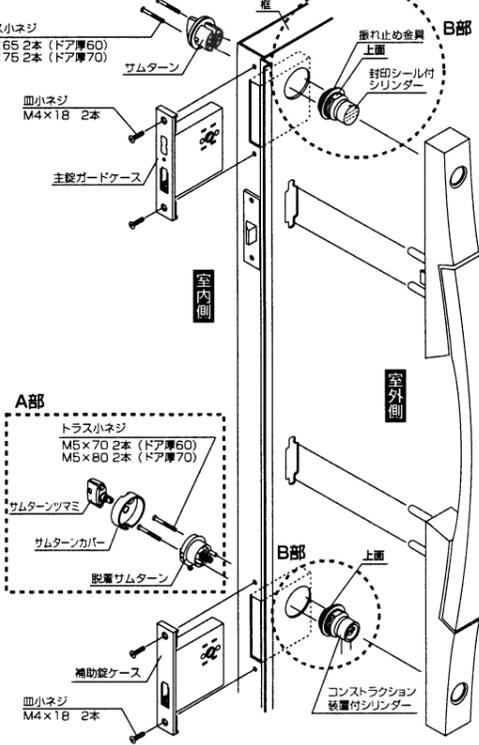
取付完成図



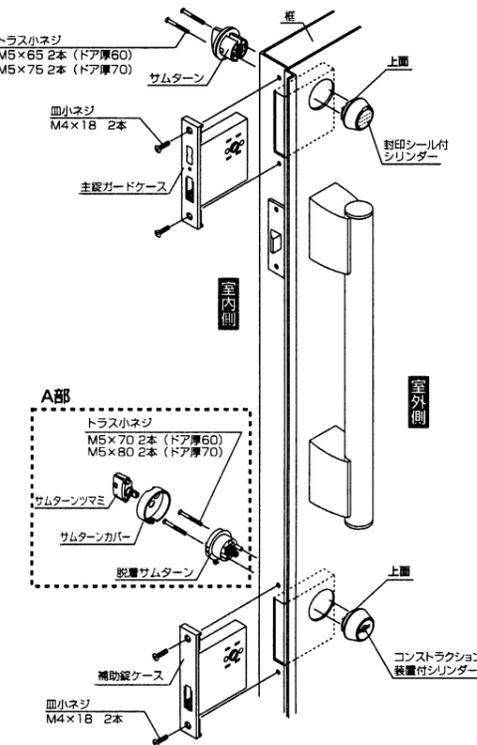
プッシュプルA型



プッシュプルB型



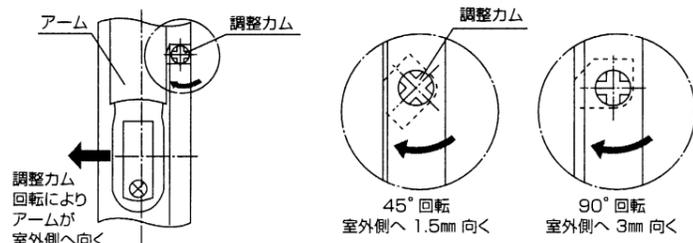
プッシュプル2型



ガード錠用ストライク調整方法

建て付けが悪い、扉が下がってきた等の理由で、ガードボルトがアームの穴に入らない場合は、受けの本体に内蔵されている調整カムをドライバーで回すだけで簡単に調整可能です。扉の状態に合わせて選択してください。

【注意】 調整カムを初めの位置から無理やり反時計回りへ回したり、初めの位置から90°以上無理やり回さないでください。調整カムが壊れ、調整ができなくなる場合があります。



コンストラクション装置について

コンストラクション装置付シリンダーは、施工の際、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、施主様専用のキーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はコンストラクションキーでは開錠できなくなります。封印シール付シリンダーは、コンストラクション装置が組み込まれていないため封印シールが貼ってあります。施工後、シールをはがし作動を確認した後、施主様にお引き渡してください。